

# 地域おこし協力隊



## 道

志村に来て9か月目を迎えました。思った以上に1年が過ぎる早さを痛感しています。それでも道志村で過ごす毎日

は、素朴だけれど小さな楽しみで溢れています。



## 12

月9日道楽

13日みなもと体験館の忘年会に呼んで頂きました。昨年8月より道志村で「地域おこし協力隊」として活動し、多くの方々と知り合いましたが、この忘年会でその「輪」が広がりました。

寒い冬の入り口で温かいご声援を頂き、初めての寒い道志村の冬を乗り越える力をもらいました。



本年もよろしく  
お願いします！



## 皆

さんご存知でしょ



自分が在野の巨人と思う人間、20歳の言葉を噛み締めて、本年に臨もうと思います。みなさん、どうぞよろしく願います。 ※呉下の阿蒙…いつまでたつても進歩しない人の意。 (大野航輔)

昨年中は村内のお祭りや行事におじゃまし、たくさんの方々にお世話になりました。また畑をやっていたことで、隣接する畑の方や通りがかりの方にもお世話になりました。ありがとうございます。

今年には年男ということで、ウマのように元気で活発な1年にしていききたいと思えます！昨年やりきれなかったこと、反省を今年の糧として、新たな挑戦を続けていく所存です。

地域の皆様にとってもよりよい1年でありますように！今年もどうぞよろしくお願います。 (中島拓哉)

私は活動の一つとして耕作放棄地を借りて、無化学肥料で麦の栽培をしています。種まきが11月中旬になり遅れたものの、全て芽が出て一安心しています。

石臼で引いた小麦粉のうどんは美味しかったと聞いています。手をかけて麦を育て私もその味を味わってみたいと思えます。

全部が揃って一安心しています。 (千々輪岳史)

道志村を盛り上げるため、村内と村外の人達が協力し合って新しい寄り道

の場所が道志村長又にできました。その名も『よつちえ〜場』という場所です。そこで出店を兼ねてお手伝いさせていた

だいております。毎日のように観光バスが立ち寄り、お客様がたくさん来てくれてます。ぜひ皆さんも1度見に来てみてください。あと、新しく出店してみたい人も大募集中です！まずは1度遊びに来てみてください。 (井口陽介)

## 僕

が尊敬する人、周囲に沢山います。日々、接している人も。歴史的な人物と言えば、南方熊楠、和歌山



県田辺市の自宅から常に世界と向き合っていた明治生まれの民俗学者、その人です。彼が20歳で渡米を決意した際、送別の宴で仲間が発した言葉。「(前略)しかして諸君が日本に在りて、勉めて眼を社会の動静に注ぎ、よくその身を保つに、初めて国家を泰山の安きに置き、僕帰朝の日に当たり、わが大八州をして呉下の阿蒙たらざらしめんことは、これ余が諸君に向いて願うところなり。諸君、何分その身を自重し、よく勉強なされて、もってわが国社会開明の度を進められよ。」

## 最近

嬉しいことがふたつありました。ひとつは、鹿の角をひろったことです。森林整備に入った山に落ちていました。村に来てひろった、ふたつ目の角です。



もうひとつは、わな猟の現場に立ち会わせていただき、鹿をしとめるところから解体まで教えていただいたことです。きれいに解体したあとは、ほとんど捨てる場所はありません。猟師さんの生きものへの真摯な姿勢を間近で見て、身が引き締まる思いでした。自分もこのような、生きものとの真剣に向き合うすべを身につけたいと思えました。本年もどうぞよろしく願います。 (香西恵)